

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	3	対象	HR11~HR16
担当者	柳田、松井、浅海、富岡						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)			LANDMARK Fit English Communication I ワークブック (啓林館)				105
学期	月	指導内容	指導目標				時数
1 学 期	4	Lesson 1 What Can Blood Type Tell Us?	○進行形、助動詞、受動態を理解する。 ○「血液型で性格はわかるのか?」について、日本と海外の文化を比較する。 ○英語で挨拶や自己紹介をする。				40
	5	Lesson 2 Curry Travels around the World	○カレーのルーツとイギリスで普及した経緯を理解する。 ○本文の要点を確認しながら聞き取る。 ○カレーなどの食べ物について意見交換する。				
	6	Lesson 3 School Uniforms	○日本と海外の制服事情について読み取る。 ○イラストを用いて、本文に出てくるユニフォームやエンブレムの特徴について説明する。 ○制服について意見交換する。				
	7	Lesson 4 Gorillas and Humans	○ゴリラの特徴についての説明文を読み取る。 ○本文の要点を確認しながら聞き取る。 ○コミュニケーションスタイルや絶滅危惧種について調べ、意見交換する。				
2 学 期	9	Lesson 5 "gr8" or great?	○若者が用いる新種の言語についての本文を読み取る。 ○新種の言語の作り方や使われる理由について知る。 ○新種の言語について情報交換する。 ○関係代名詞、間接疑問文が使われている文章を理解する				40
	10	Lesson 6 Biodiesel Adventure	○バスコファイブ号について読みとる。 ○周生さんが旅を通じて得たことを理解する。 ○自分の理想の旅行について説明する。 ○好きな場所について、特徴や好きな理由など述べる。				
	11	Lesson 7 Eco-tour on Yakushima	○世界遺産屋久島とエコツアーについて理解する。 ○屋久島の地理と気候について聞き取り、理解する。 ○イラストを用いて縄文杉の特徴について説明する。 ○エコツアーや屋久島について述べる。				
	12	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter	○長井さんのエピソードを読み取る。 ○本文の要点を確認しながら聞き取る。 ○イラストを用いて説明する。 ○将来の夢や、長井さんについて意見交換する。				
3 学 期	1	Lesson 9 Space Elevator	○宇宙エレベーターについての本文を読みとる。 ○宇宙エレベーターの材質や利点を聞きとる。 ○イラストを用いて宇宙エレベーターについて説明する。				25
	2	Lesson 10 Friendship over Time	○トルコ航空機による日本人救出劇の概要を読む。 ○エルトゥールル号の事故の経緯を聞き取る。				
	3	Lesson 10 Friendship over Time	○トルコ人の生存者が帰国した経緯について説明する。 ○トルコと日本の友情について意見交換する。				
評価の観点			評価の方法				
知識・技能	基本的な単語、表現、文法を理解している。 理解した単語、表現、文法を正しく使うことができる。 英語を正しく発音することができる。		定期考査 小テスト 提出物 実技テスト				
思考・判断・表現	単語、表現、文法の知識を使って、まとまった文章を読み、書き手の考えを理解することができる。 単語、表現、文法の知識・技能を使って、自分の考えを表現することができる。		定期考査 小テスト 提出物 実技テスト				
主体的に学習に取り組む態度	筆者の考えを理解しようとする意欲を持っている。 相手と英語でコミュニケーションをとろうとする意欲を持っている。		定期考査 小テスト 提出物 実技テスト				

教科名	英語	科目名	英語表現 I	単位数	2	対象	1年生
担当者	池田真彩実・大槻雅子・松井幸子・柳田健						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
MAINSTREAM ENGLISH EXPRESSION I SECOND EDITION 増進堂			総合英語FACTBOOK English Grammar Core 総合英語FACTBOOK English Grammar Core Workbook			35	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Classroom English Lesson 1 Nice to Meet You 第1章 文型 (1) 第2章 文型 (2)		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			13
	5	Lesson 2 What Kind of Music Do You Like? Lesson 3 My Treasure Plus 文型 中間考査		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
	6	Lesson 4 This Coming Weekend Skill 1 Making a Speech 第1章 時を表す表現 (1) 第2章 時を表す表現 (2)		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
	7	第3章 完了形 (1) 第4章 完了形 (2) 実技テスト 期末考査		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
2 学 期	9	Lesson 5 Subjects I' m Taking 夏休み宿題テスト 第10章 受動態 (1) 第11章 受動態 (2)		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			13
	10	Lesson 6 Are You in a Club? 第12章 不定詞 (2) 中間考査		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
	11	Lesson 7 The School Festival Is Soon Lesson 8 Getting to Asahi Senior HS 第13章 不定詞 (2) 第14章 不定詞 (3)		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
	12	Plus 不定詞 Output Training 不定詞 実技テスト 期末考査		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
3 学 期	1	Lesson 9 The Store I Often Go to 第15章 動名詞 (1) 第16章 動名詞 (2)		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			9
	2	Lesson 10 I Feel Sick 第17章 分詞 (1) 第18章 分詞 (3)		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
	3	Skill 2 Conversation Strategies 学年末考査		該当範囲の語彙や表現を学び、話したり書いたりする。 該当範囲の文法事項を学び、正しく使えるようになる。			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	基本的な語彙や表現・文法事項を理解している。			定期考査 実技テスト Writing課題 提出物			
思考・判断・表現	学習した基本的な語彙や表現・文法を使って、自分自身のことや日常生活について伝えることができる。			定期考査 実技テスト Writing課題 提出物			
主体的に学習に取り組む態度	自分自身のことや日常生活について伝えようとしたり、積極的に相手と英語でコミュニケーションをとろうとする意欲を持っている。			実技テスト Writing課題 提出物 授業態度			

教科名	英語	科目名	ERP I	単位数	3	対象	HR11~16
担当者	柳田、松井、小沢、富岡						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
なし			多読用図書、プリント			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学期	4	多読三原則の紹介 多読図書の読み方指導		・多読三原則が理解できる。 ・多読図書の読み方がわかる。			40
	5	【多読】 ・ORT、LLLなどの初歩的な本を読む。 【発表】 ① Ducks in Muck / Too many dogs ② Reading & Showing a Book		【多読】・代表的な多読用図書であるORTから多読を開始し、英語で基礎的な英語の本を理解できる。 【発表】①初歩的な音読用資料を、大きな声ではっきりと音読できる。 ②Eye contact/Voice/emotions/English/how to show the book/gesturesを考慮しながらORT stage2の本を読み聞かせができる。			
	6	【多読】 ・基礎を踏まえつつ、ORT、LLLなどのstage4以上の本を読む。		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、代表的図書のstage4以上の本を理解できる。			
	7	【発表】 ・Mini Radio Drama		【発表】 ・ラジオドラマの音読という設定で、Voice/emotions/Englishを考慮しながら初歩的な本の読み聞かせができる。			
2 学期	9	【多読】 ・English Roomの使用を開始し、自由な選択の中にも基礎を大切にした読書選択をさせる。 【発表】 ・Retelling & rewriting the stories		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、自分で選択した本を読む。 【発表】 ・本の内容を聞いてキーワードを書き取り、自分で再構築して話すことができる			40
	10	【多読】 ・English Roomの使用を開始し、自由な選択の中にも基礎を大切にした読書選択をさせる。 【発表】 ・Retelling & rewriting the stories		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、自分で選択した本を読む。 【発表】 ・本の内容を聞いてキーワードを書き取り、自分で再構築して話すことができる			
	11	【多読】 ・English Roomの使用を開始し、自由な選択の中にも基礎を大切にした読書選択をさせる。		【多読】 ・基礎を踏まえつつ、自分で選択した本を読む。			
	12	【発表】 ・Retelling & rewriting the stories		【発表】 ・本の内容を聞いてキーワードを書き取り、自分で再構築して話すことができる。			
3 学期	1	【English Camp発表】 ・課題発表を完成させる。		English Campで発表するRetellingの原稿と使用アイテムの完成と練習を実施する。			25
	2	【多読】 ・自分で選択した図書を読む。 ・English Campの反省と改善点を考える。		【多読】 ・自分で選択した図書を読む。 ・English Campの日記や感想文を完成させる。			
	3						
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	英語の多読の基本的な方法を理解し、実践することができる。 ジェスチャー、視線、抑揚などを使いながら英語を話すことができる。			ファイル提出 発表 授業中の取組			
思考・判断・表現	分からない単語や表現の意味を、前後の文脈やイラストから推測することができる。 ジェスチャー、視線、抑揚、強弱、間のとりかたなどを効果的に使って、表現することができる。			ファイル提出 発表 授業中の取組			
主体的に学習に取り組む態度	英語の本をたくさん読み、理解しようとしている。 自分が伝えたいことをできるだけ、正確に、豊かに相手に伝えようとしている。			ファイル提出 発表 授業中の取組			

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3	対象	高校2年生
担当者	小野澤結実・岡崎由美子・杉山朱美・清水秀雄						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)			LANDMARK Fit English Communication I ワークブック (啓林館)				105
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Lesson1 I'm the Strongest!		○障がい者スポーツについて知る。 ○スポーツを通じた国枝選手の生き方を知る。 ○ifを使う間接疑問文を使えるようにする。 ○英語で自分の考えを発表する。			40
	5	Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle 中間考査		○世界で認められている日本の文化について学ぶ。 ○新幹線の清掃と日本の美徳「おもてなし精神」について考える。 ○形式目的語のitが含まれる文章を理解する。			
	6	Lesson3 Saint Bernard Dogs Lesson4 Chanel's Style		○スイス人とセントバーナードの深い繋がりを読み取る。 ○現在完了形の受動態を使って、動物と人間の関係について発表する。 ○時代の変化とビジネスについてシャネルの人生から読み取る。 ○自分の将来について簡単なスピーチをする。			
	7	期末考査					
2 学 期	9	Lesson5 Science of Love		○恋に落ちる原因について科学で解明できるのか読み取る。 ○do you thinkを含む疑問文を使って意見交換する。 ○科学的な語彙を増やす。			40
	10	Lesson6 Gaudi and His Messenger 中間考査		○ガウディと外尾さんに共通する生き方や本文のメッセージを読み取り、意見交換する。 ○分詞構文を理解し、使えるようにする。 ○サグラダファミリアや世界の建築物について調べる。			
	11	Lesson7 Letters from a Battlefield Lesson8 Edo: A Sustainable Society		○硫黄島の戦いの経緯を歴史的観点で学ぶ。 ○反戦、平和、家族愛のテーマの観点で本文を読み取る。 ○「持続可能な」ものについて身近なテーマについて考え、発表する。 ○完了形の不定詞を使えるようにする。			
	12	期末考査					
3 学 期	1	Lesson9 AI and Our Future		○AIの進化は人間にとってどういう存在か、グループで意見交換する。 ○AIに仕事を取られないために、私たちが存在する価値はどのように見出ししていくか考える。 ○仮定法過去完了を使ってAIと人間のかかわりについて発表する。			25
	2	Lesson10 Bhutan: A Happy Country		○ブータンはなぜ幸せな国と呼ばれるのか、読み取る。 ○生徒にとって幸せな国とは、英語で発表する。 ○強調構文や部分否定を使って、自分の考えを表現できるようにする。			
	3	学年末考査					
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	○各単元について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。			○定期考査 ○音読テスト ○内容理解Q&A			
思考・判断・表現	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自らの考えや意見を相手に伝えられるか。			○定期考査 ○音読テスト ○ミニスピーチ ○ディスカッション			
主体的に学習に取り組む態度	○主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。			○発言 ○ペアワーク、グループ活動への取り組み ○課題、提出物			

教科名	英語	科目名	英語表現	単位数	2		HR21～26
担当者	小沢和光、岡崎由美子、榎原多佳子、清水英雄						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
MAINSTREAM ENGLISH EXPRESSION I(増進堂) MAINSTREAM ENGLISH EXPRESSION II(増進堂)			Mainstream English Expression I Workbook (増進堂) Mainstream English Expression II Workbook (増進堂) 総合英語be English Grammar 26				70
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Mainstream I Lesson 11 Volunteer Activities 動名詞 エッセイライティング		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについて、意見や伝えたり、話し合うことができる。 ・動名詞の形態、意味や働き、用法が理解できる。 ・ボランティア活動についてエッセイを書くことができる。 			28
	5	Mainstream I Lesson 12 Japanese Food 分詞 エッセイライティング 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> ・日本食の特色や魅力について理解し、紹介できる。 ・現在分詞、過去分詞による修飾表現が正しくできる。 ・日本食の特徴がわかるエッセイを書くことができる。 			
	6	Mainstream I Lesson 13 Countries Around the World 関係代名詞 エッセイライティング		<ul style="list-style-type: none"> ・訪れたい国について、意見や伝えたり、話し合うことができる。 ・関係代名詞の用法が理解できる。 ・訪れたい国についてエッセイを書くことができる。 			
	7	期末考査					
2 学 期	9	Mainstream I Lesson 14 Reduce, Reuse, Recycle 比較 エッセイライティング		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを減らすためにできることを話し合うことができる。 ・比較の各用法の意味や働きが理解できる。 ・ゴミ問題についてエッセイを書くことができる。 ・食生活について、意見や伝えたり話し合うことができる。 			28
	10	Mainstream I Lesson 15 We Are What We Eat 関係副詞 エッセイライティング 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の意味や働き、用法が理解できる。 ・現代の食生活についてエッセイを書くことができる。 			
	11	Mainstream I Lesson 16 An Impressive Book 仮定法 エッセイライティング		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の勧める本について表現することができる。 ・仮定法の形態、意味や働き、用法が理解できる。 ・読書の価値についてエッセイを書くことができる。 			
	12	期末考査					
3 学 期	1	Mainstream II Lesson 1 Self-Introduction 文の要素 エッセイライティング		<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をしたりや相手の紹介を理解することができる。 ・文の要素を正しく使うことができる。 ・自己紹介に関するエッセイを書くことができる。 			14
	2	Mainstream II Lesson 2 A Place I Recommend You Go 時制 エッセイライティング		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の勧める場所について表現することができる。 ・時制の形態、意味や働き、用法が理解できる。 ・自分の勧める場所についてエッセイを書く。 			
	3	学年末考査					
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	各文法項目について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けているか。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・音読テスト ・確認テスト (Q&A、TFなど) 			
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、表現の方法を工夫しながら、書いたり話したりする力が身につけているか。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ミニスピーチ ・ディスカッション 			
主体的に学習に取り組む態度	主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。			<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・ペアワーク、グループ活動への取り組み ・課題、提出物 			

教科名	英語	科目名	ERPII	単位数	2	対象	2学年
担当者	榎原多佳子・小野澤結実・大槻雅子・鶴之園篤史						
使用教科書			使用教材				年間授業時数
なし			<ul style="list-style-type: none"> ・多読図書 ・プリントなど 				70
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・Making a Picture Book 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・自分の好きな本を選び、その絵本のあらすじ・絵本を読んだ感想を発表する。 			28
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・Making a Picture Book 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・自分の好きな本を選び、その絵本のあらすじ・絵本を読んだ感想を発表する。 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・Dramatizing 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・劇の台本を書き、それを演じることで、生きた英語を学ぶ。 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 			
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・Mini TED 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・自分の興味関心のあう事柄について、プレゼンテーションソフトを用いて発表する 			29
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・Mini TED 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・自分の興味関心のあう事柄について、プレゼンテーションソフトを用いて発表する 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・School Trip 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・修学旅行先のベトナムについて調べて発表する 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 			
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・スピーチコンテスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・自分で選んだ題材に関してスピーチ原稿を書き、発表する。 			13
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・多読 ・スピーチコンテスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本を楽しみながら読むことができる。 ・自分で選んだ題材に関してスピーチ原稿を書き、発表する。 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテストの実施 			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	「基礎学力」 自分が理解できるレベル／内容の多読図書を選択ができ、ある程度理解できる。また、課題として提示されたプレゼンテーションを個人やグループできちんと取り組むことができる。			○提出物 ○発表 ○取り組み			
思考・判断・表現	「異文化理解」 多読図書を読みながら、異なる文化も等しく価値があるものとして接することができる。またプレゼンテーション課題に取り組みながら、クラスメートやALTもまた異文化を持つものとして理解しようとする積極的になれることができる。			○提出物 ○発表 ○取り組み			
主体的に学習に取り組む態度	「コミュニケーション力」 相手の考えを理解しようと努め、自分の考えを持つことができる。また日常的话题で他者と交流することができる。			○提出物 ○発表 ○取り組み			

教科名	外国語	科目名	英語演習	単位数	2	対象	第2学年選択者
担当者	榊原 多佳子						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
			Tetra3 4技能対応総合問題集 (啓隆社) Reading Core 2 (啓隆社)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Tetra 3 Unit 1, 2 Reading Core 2 第1,2回		<ul style="list-style-type: none"> 分詞の後置修飾/比較の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			28
	5	Tetra 3 Unit 3, 4 Reading Core 2 第3~5回 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> 省略/as sson as S canの表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			
	6	Tetra 3 Unit 5, 6 Reading Core 2 第6~9回		<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			
	7	期末考査					
2 学 期	9	Tetra 3 Unit 7, 8 Reading Core 2 第10~12回		<ul style="list-style-type: none"> 知覚動詞の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			28
	10	Tetra 3 Unit 9, 10 Reading Core 2 第13~15回 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> 最上級の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			
	11	Tetra 3 Unit 11, 2 Reading Core 2 第16~18回		<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞、比較の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			
	12	期末考査					
3 学 期	1	Tetra 3 Unit 13, 14 Reading Core 2 第19~21回		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			14
	2	Tetra 3 Unit 15 Reading Core 2 第22~24回		<ul style="list-style-type: none"> 過去完了の表現と用法が理解できる。 リスニング、ライティング、スピーキングの問題演習に取り組み、成果を上げる。 速読問題に取り組み、読解スキルを身に付ける。 			
	3	学年末考査					
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	各文法項目について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。			定期考査、小テスト、提出物			
思考・判断・表現	情報や考えなどを適切に理解したり、状況に応じて適切に伝えたりする力が身につけているか。			定期考査、小テスト、提出物			
主体的に学習に取り組む態度	主体的に英語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度が養われたか。			取り組み、提出物、発表			

教科名	外国語（英語）	科目名	英語理解	単位数	3	対象	第2学年 選択者
担当者	浅海 若葉						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
・該当なし			・Four Corners 2 Cambridge University Press社 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 桐原書店 ・担当教員オリジナル作成Worksheets			105	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・Four Corners 2 Unit 1 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 1,2,3 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ①		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言いかえや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Present, Past, Future Tense			40
	5	・Four Corners 2 Unit 2 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 4,5,6 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ②		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言いかえや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Present Perfect			
	6	・Four Corners 2 Unit 3 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 7.8.9.10 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ③		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言いかえや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Auxiliary Verbs			
	7	・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ③' および Poster Session①		1学期に学び習得・インプットした「英語4技能+1」スキルを改めてアウトプット活動へ結び付ける			
2 学 期	9	・Four Corners 2 Unit 4 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 11,12 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ④		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言いかえや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Infinitives			40
	10	・Four Corners 2 Unit 5 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 11,12,13,14 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑤		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言いかえや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Infinitives & Gerunds			
	11	・Four Corners 2 Unit 6 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 15,16,17,18 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑥		①「別途提示・ビジネス科とのコラボ協議で決定した論題」について「賛成」「反対」両方の立場から「論拠」と「データ」を図示等で明示して相手の話をよく聴きとり、攻撃をうけ、防御できるディベートができた ②Structures with Participles			
	12	・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑥' および Promotion Video ①		2学期に学び習得・インプットした「英語4技能+1」スキルを改めてアウトプット活動へ結び付ける			
3 学 期	1	・Four Corners 2 Unit 7 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 L. 19,20 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑦ および Promotion Video ②		①「別途提示・ビジネス科とのコラボ協議で決定した論題」について「賛成」「反対」両方の立場から「論拠」と「データ」を図示等で明示して相手の話をよく聴きとり、攻撃をうけ、防御できるディベートができた ②学校紹介や商品紹介のプロモーションビデオを英語で作成できた			25
	2	・Four Corners 2 Unit 8 ・『Hyper Listening Plus / Intermediate』 Reflections! ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑧ および Promotion Video ③		①「別途提示・ビジネス科とのコラボ協議で決定した論題」について「賛成」「反対」両方の立場から「論拠」と「データ」を図示等で明示して相手の話をよく聴きとり、攻撃をうけ、防御できるディベートができた ②学校紹介や商品紹介のプロモーションビデオを英語で相互鑑賞し評価し合えた			
	3	・「英語科4技能+1」総合受発信力/ 総仕上げ		学年を通して学び、習得・インプットした「英語4技能+1」スキルを改めてアウトプット活動へと結び付けていく			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	①「英語4技能+1」を習得し、アウトプットできるようになっているかどうか ②「発展的英語運用力の精度」例) 英語表現力・英語構文力、を「ひとつ上の段階」へ引き上げることができたかどうか			①「英語ディベートおよび英語プレゼンテーション」のインプット状況の確認テスト ②小テスト、定期考査、実技試験			
思考・判断・表現力	①「自分の考え」「相手の考え」を照らし合わせて聞き、あるいは話すことで、情報や考え方のアウトプット力が伸びているかどうか ②「発展的英語運用力の精度」例) 英語表現力・英語構文力、を「ひとつ上の段階」へ引き上げることができたかどうか			①「英語ディベートおよび英語プレゼンテーション」のアウトプット状況の確認テスト ②英語ライティング・エッセイ、定期考査中の表現問題、実技試験			
主体的に学習に取り組む態度	①的確にメモ、ノートを取ることができているかどうか ②ワークブック、家庭学習課題(短期・長期)に意欲的に取り組んでいるかどうか			①各授業開始時毎の相互交換チェック ②各定期考査毎の教員による直接課題拜見			

教科名	英語	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4	対象	3学年全員
担当者	大槻 岡崎 小沢 鶴之園						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
World Trek English Communication II World Trek English Communication III			World Trek English Communication II Workbook World Trek English Communication III Workbook Listening Pilot Level 2, Listening Pilot Level 3 チャンクで英単語 Standard ドリルノート②			140	
学期	月	指導内容		指導目標		時数	
1 学 期	4						
	5	Snowflake Bentley 雪の結晶に魅せられて、結晶の撮影をし続けたベントレーの伝記を読む		○仮定法過去、<wish+仮定法過去>、仮定法過去完了の用法を理解する ○仮定法を使ってもし〜ならという想像上の文章を作る		60	
	6	Ukiyoe and the Impressionists 19世紀に浮世絵がヨーロッパの人々に与えた影響について読み、日本と海外の文化の違いや関係を理解		○準否定語、さまざまな比較の表現の用法を理解する ○本文の理解とイラストを使って本文を説明できる			
	7	Emma Watson エマワトソンが抱えていた悩みと、それをどのように乗り越えて現在の活動に至ったかを読む		○文章の構造を考える ○人生において大切なものについて自分の意見を英語でまとめる			
9	Why do We have Pats? なぜ私たちはペットを飼うのか。列挙されている理由に注目して読む		○例示・列挙の展開を押さえる ○イヌが好きな人、ネコが好きな人、どちらでもない人に別れて、立場の違う人と話し合った後、自分の意見を英語でまとめる				
2 学 期	10	The History of the Croissant クロワッサンの歴史について時間的順序を表す語句に注目しながら読み、身近なものの文化や歴史に興味を持つ		○時間的順序の展開を押さえる ○自分の好きな食べ物の起源や歴史について調べ、その内容を英語で発表する		60	
	11	Is "Free" Trade the "Best" trade? 自由貿易について、農業国と工業国との比較を通じて基本的な理解と問題点を読む		○比較・対照を考える ○自国の生産者を守るために関税をかけるべきかを話し合い、自分の考えをまとめる			
	12	Experiments in Space 宇宙で行われている様々な実験がどのような問題を解決しようとしているかを読む		○問題点と解決策を考える ○宇宙開発の是非について自分の考えをまとめ、それをもとにディベートを行う			
3 学 期	1	Turning a Desert into a Green Land 中村さんが長年にわたり行ってきた支援活動について、出来事の原因と結果を押さえながら読む		○原因と結果を考える ○自分たちのできる支援についてディスカッションし、考えをまとめる		20	
	2						
	3						
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	○英語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 ○英語の学習を通じて言語の働きや役割などを理解している。			定期考査と小テストで「理解力」「正確さ」「適切さ」を評価する。			
思考・判断・表現	○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			英語で話したり、発表したり、書いたりして、自分の考えを表現していることを評価する。			
主体的に学習に取り組む態度	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。			活動の観察とワークシート、ワークブックの取り組みにより評価する。			

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2	対象	第3学年
担当者	高田・鶴之園・杉山						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
Mainstream English Expression II (増進堂)			Mainstream English Expression II Workbook (増進堂)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	L8 The History of Mobile Phones in Japan		比較、エッセイライティング			28
	5	L9 Family Rules		動名詞、SVOC、エッセイライティング			
	6	L10 Manga in School Libraries		関係詞、thatの用法、エッセイライティング			
	7	期末考査					
2 学 期	9	L11 What We Can Do for the Environment		否定、不定詞の応用表現、エッセイライティング			28
	10	L12 Are Animals in Zoos Happy?		分詞構文、譲歩、エッセイライティング			
	11	L13 Is Online Communication Good?		無生物主語、itの用法、エッセイライティング			
	12	期末考査					
3 学 期	1	L20 In Ten Years		総合的ライティング			14
	2	卒業考査					
	3						
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	各文法項目について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けているか。			定期考査、エッセイ			
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、特に書くことにおいて表現する力が身についているか。			定期考査、エッセイ			
主体的に学習に取り組む態度	主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われたか。			取り組み、提出物			

教科名	英語	科目名	ERP III	単位数	2	対象	3学年全員
担当者	岡崎 杉山 高田						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
なし			自作プリント			70	
学期	月	指導内容		指導目標		時数	
1 学 期	4					30	
	5	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○CSR Activityについて会話文を作成し発表できる			
	6	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○Think Global, Act Localの視点から自分の身の回りをよくするための提言を英語で発表する。			
	7	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○Think Global, Act Localの視点から自分の身の回りをよくするための提言を英語で発表する。			
2 学 期	9	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○MiniTED形式でスライドを作り、自分の紹介したいものやことを発表できる		30	
	10	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○MiniTED形式でスライドを作り、自分の紹介したいものやことを発表できる			
	11	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○千早高校で学んだことについて発表できる			
	12	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○千早高校で学んだことについて発表できる			
3 学 期	1	○多読 ○プレゼンテーション		○1回につき2000～3000語を目安に集中して読書ができる ○グループでコントを作り発表できる		10	
	2						
	3						
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	○英語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 ○英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。			ペーパーテストにて、理解度と適切さを評価する			
思考・判断・表現	○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			英語で話したり、書いたり、発表して、自分の考えを表現していることを評価する。			
主体的に学習に取り組む態度	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。			活動の観察とワークシート、ワークブックの取り組みにより評価する。			

教科名	外国語	科目名	英語演習Ⅱ	単位数	2	対象	第3学年 選択者
担当者	高田 理沙子						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
			Treasure Hunt 4 (いいずな書店) FACTBOOK Advanced (桐原書店) Hyper Listening Intermediate (桐原書店)			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	Treasure Hunt Unit 8 Factbook 13章 Hyper Listening Lesson 1、2		長文読解、不定詞(1)、リスニング			28
	5	Treasure Hunt Unit 9 Factbook 14、15章 Hyper Listening Lesson 3		長文読解、不定詞(2)(3)、リスニング			
	6	Treasure Hunt Unit 10 Factbook 16、17章 Hyper Listening Lesson 4、5		長文読解、動名詞(1)(2)、リスニング			
	7	期末考査					
2 学 期	9	Treasure Hunt Unit 11 Factbook 18、19章 Hyper Listening Lesson 6、7		長文読解、分詞(1)(2)、リスニング			28
	10	Treasure Hunt Unit 12 Factbook 20、21章 Hyper Listening Lesson 8		長文読解、比較(1)(2)、リスニング			
	11	Treasure Hunt Unit 13 Factbook 22、23、24章 Hyper Listening Lesson 9、10		長文読解、比較(3)、関係詞(1)(2)、リスニング			
	12	Treasure Hunt Unit 13 期末考査		長文読解			
3 学 期	1	Treasure Hunt Unit 14 Factbook 25、26章 Hyper Listening Lesson 11		長文読解、関係詞(3)、パッケージ表現としての節(1)、リスニング			14
	2	卒業考査					
	3						
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	各文法項目について理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけているか。			定期考査、小テスト、提出物			
思考・判断・表現	情報や考えなどを適切に理解したり、状況に応じて適切に伝えたりする力が身につけているか。			定期考査、小テスト、提出物			
主体的に学習に取り組む態度	主体的に英語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度が養われたか。			取り組み、提出物、発表			

教科名	外国語（英語）	科目名	時事英語	単位数	2	対象	第3学年 選択者
担当者	浅海 若葉						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
・該当なし			・『Watching News 2019-2020』 浜島書店 ・担当教員オリジナル作成Worksheets（英語ディベート、英語論作文、英語プレゼンテーション）			70	
学期	月	指導内容		指導目標			時数
1 学 期	4	・『Watching News 2019-2020』 Units 1&2 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ①		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言い換えや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Theme: Kyogen& Pop Culture			28
	5	・『Watching News 2019-2020』 Units 3&4 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ② および、英語論作文 ①		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言い換えや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Theme: Wheelchair rugby 他			
	6	・『Watching News 2019-2020』 Units 5&6 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ③ および、英語論作文 ②		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言い換えや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Theme: Japanese Foodsほか			
	7	・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ③' および Poster Session①		1学期に学び習得・インプットした「英語4技能+1」スキルを改めてアウトプット活動へ結び付ける			
2 学 期	9	・『Watching News 2019-2020』 Units 7-9 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ④		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言い換えや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Theme: Peace ほか			28
	10	・『Watching News 2019-2020』 Units 10 & 11 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑤		①与えられたトピックについて、調べた事柄や自分の意見・考えを適切に述べられる ②言い換えや省略に注意しながら、英文を正しく理解し自分で表現できるようになる ③Theme: Cashless Japan ほか			
	11	・『Watching News 2019-2020』 Units 12&13 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑥		①「別途提示・ビジネス科とのコラボ協議で決定した論題」について「賛成」「反対」両方の立場から「論拠」と「データ」を図示等で明示して相手の話をよく聴きとり、攻撃をうけ、防御できるディベートができた ②Theme: Okinawa			
	12	・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑥'		2学期に学び習得・インプットした「英語4技能+1」スキルを改めてアウトプット活動へ結び付ける			
3 学 期	1	・『Watching News 2019-2020』 Unit 14 ・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑦		①「別途提示・ビジネス科とのコラボ協議で決定した論題」について「賛成」「反対」両方の立場から「論拠」と「データ」を図示等で明示して相手の話をよく聴きとり、攻撃をうけ、防御できるディベートができた ②Theme: Environment			14
	2	・担当教員オリジナル作成Worksheets /Debating ⑧		①「別途提示・ビジネス科とのコラボ協議で決定した論題」について「賛成」「反対」両方の立場から「論拠」と「データ」を図示等で明示して相手の話をよく聴きとり、攻撃をうけ、防御できるディベートができた ②Theme: Throughout the year 2020-2021			
	3	・「英語科4技能+1」総合受発信力/ 総仕上げ		学年を通して学び、習得・インプットした「英語4技能+1」スキルを改めてアウトプット活動へと結び付けていく			
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	①「英語4技能+1」を習得し、アウトプットできるようになっているかどうか ②「発展的英語運用力の精度」例) 英語表現力・英語構文力、を「ひとつ上の段階」へ引き上げることができたかどうか			①「英語ディベートおよび英語プレゼンテーション」のインプット状況の確認テスト ②小テスト、定期考査、実技試験 ③600 words 上限の英語論作文の執筆			
思考・判断・表現力	①「自分の考え」「相手の考え」を照らし合わせて聞き、あるいは話すことで、情報や考え方のアウトプット力が伸びているかどうか ②「発展的英語運用力の精度」例) 英語表現力・英語構文力、を「ひとつ上の段階」へ引き上げることができたかどうか			①「英語ディベートおよび英語プレゼンテーション」のアウトプット状況の確認テスト ②英語ライティング・エッセイ、定期考査中の表現問題、実技試験			
主体的に学習に取り組む態度	①的確にメモ、ノートを取ることができているかどうか ②ワークブック、家庭学習課題(短期・長期)に意欲的に取り組んでいるかどうか			①各授業開始時毎の相互交換チェック ②各定期考査毎の教員による直接課題拜見			